

# 復興の歩み

津波は堤防を破壊して流れ込み、沿岸部の家々に大きな被害をもたらした。なぎ倒された松林が津波の威力を物語る。2011年9月8日



2020年

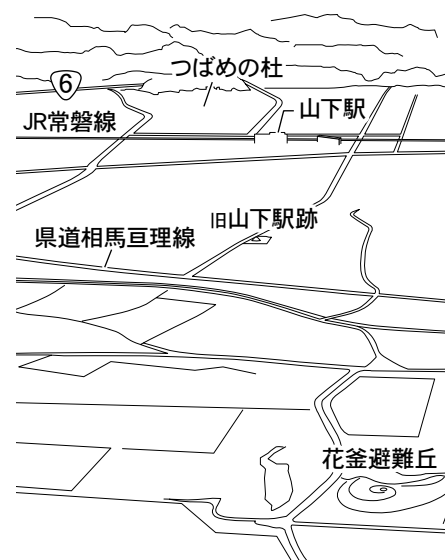


写真下の沿岸部は津波避難丘や農地が整備され、県道相馬巨理線がかさ上げされた。奥の住宅密集地が新市街地つばめの杜。2020年11月18日

イチゴハウスや家々が連なり、穏やかな農村風景が広がっている。2007年6月(一般社団法人東北地域づくり協会提供)



津波の威力と防災の大切さを伝える東日本大震災遺構中浜小。校舎は約10分の津波に襲われたが、児童や教職員ら90人は屋根裏倉庫に避難し、全員助かった。



## 宮城 山元町 内陸移転進め 町を大改造

宮城県山元町は東日本大震災の津波で町の37.2%に当たる2400戸が浸水した。最大浸水深12.2mの津波が襲い、関連死を含め718人が犠牲になった。

町はJR常磐線の内陸移転を伴う「コンパクトシティ構想」を掲げ、集団移転先を「新山下駅周辺つばめの杜」「新坂元駅周辺」「桜塚(宮城病院周辺)」の3カ所に絞る集約化を進めた。特に山下駅を核とする新市街地つばめの杜は一戸建ての災害公営住宅と自力再建した住宅に学校やスーパー、公園が整備され、復興の象徴として注目を集める。

震災前、阿武隈高地の東側に広がる南北12km、東西6kmの町は集落が全域に点在していた。人口減少と少子高齢化が大災害で一気に進む中、町は持続可能なまちづくりを見据え、住民の賛否に揺れながらも大改造を実行した。

沿岸部の約1900戸は津波浸水深に応じて第1～3種の津波防災区域(災害危険区域)に設定した。農地を整備し、水田と畑地の集約化を進める。

特産のイチゴは海沿いに点在していたハウスの大半が被災したが、2014年に高設ベンチを備える大型のイチゴ団地の整備事業が完了。20年産の生産額は16億円となり、震災前を上回った。

震災で人口が4000減り、町は交流人口の増加に力を入れる。19年に開所した農水産物直売所「やまもと夢いちごの郷」は新たな名所としてにぎわう。震災遺構「中浜小」には町内外から見学者が訪れる。

※ 定点観測「復興の歩み」は今回で終わります。

### まちのデータ

人口	2021年6月1日 1万1674人	11年3月1日 1万6608人	増減率 -29.7%
----	----------------------	--------------------	---------------

復興交付金	859億574万円
-------	-----------

犠牲者	死亡 681人	行方不明 17人	関連死 20人
-----	------------	-------------	------------

住宅被害	全壊 2217棟	半壊 1085棟	一部破損 1138棟
------	-------------	-------------	---------------

※復興交付金は復興庁まとめて、山元町内で実施された宮城県事業への交付分を含む。人口、犠牲者、住宅被害は県まとめ

### ● まちの宝



イチゴ

「いちごのふるさと山元町」をスローガンに特産イチゴをPR。震災後は高設ベンチ式の大型ハウスが整備され、観光農園は多くの来場者でにぎわう。イチゴ関連の農業法人は15社。



### ● まちの動き

- 2011年
  - 3月11日 地震発生。宮城県山元町で震度6強。津波浸水深は最大12.2m。町面積の37.2%が浸水した
  - 21日 臨時災害FM「りんごラジオ」開局
  - 5月30日 仮設住宅の入居始まる。プレハブ仮設は計1030戸整備
  - 8月16日 仮設住宅の建設が完了し、避難所を閉鎖。ピーク時は19カ所に5826人が避難
  - 10月19日 磯浜漁港で定置網漁を再開
  - 12月26日 町震災復興計画を策定
- 2012年
  - 9月3日 巨理清掃センターが通常業務を再開
- 2013年
  - 4月1日 災害公営住宅の入居開始。計490戸を順次整備
- 2014年
  - 4月30日 4カ所のイチゴ団地整備事業が完了
  - 常磐自動車道浪江インターチェンジ(IC、福島県浪江町)―山元IC間が開通
- 2015年
  - 10月13日 国立病院機構宮城病院(山元町)、宮城県巨理町と3者相互協力協定を締結
- 2016年
  - 10月23日 新市街地つばめの杜、新坂元駅周辺がまちびらき
  - 12月10日 JR常磐線相馬―浜吉田(巨理町)間で運転を再開
- 2017年
  - 8月1日 防災拠点・坂元地域交流センター「ふるさとおもだか館」がオープン
  - 10月1日 防災拠点・山下地域交流センター「つばめの杜ひだまりホール」が開所
- 2018年
  - 11月3日 町歴史民俗資料館で合戦原遺跡横穴墓から出土した「練刻壁画」の公開始まる
- 2019年
  - 2月9日 常磐線坂元駅前に農水産物直売所「やまもと夢いちごの郷」がオープン
  - 5月7日 役場新庁舎が開庁
- 2020年
  - 9月26日 震災遺構「中浜小」の一般公開始まる
- 2021年
  - 3月26日 かさ上げ整備した県道相馬巨理線が開通



「復興の歩み」の写真は河北新報オンラインニュースで公開しています。紙面掲載以外のカットも見られ、QRコードでアクセスできます。

JR常磐線坂元駅前に2019年にオープンした農水産物直売所。イチゴや磯浜漁港で水揚げされた魚介類、地場野菜が並ぶ。20年11月に来場者100万人を達成。フードコートも併設する。